

2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年1月14日
東

上場会社名 BABY JOB株式会社 上場取引所
コード番号 293A URL <https://baby-job.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)上野 公嗣
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)灘 広樹 (TEL) 06(4862)5187
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	2,101	—	97	—	96	—	134	—
2024年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	45.82	—
2024年2月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2024年2月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2024年2月期第3四半期の数値及び2025年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、当社株式は当第3四半期会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	1,112	467	42.0
2024年2月期	797	332	41.7

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 467百万円 2024年2月期 332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,839	71.9	44	—	44	—	45	—	15.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期3Q	2,945,580株	2024年2月期	2,945,580株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	一株	2024年2月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期3Q	2,945,580株	2024年2月期3Q	一株

(注) 当社は、2024年2月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年2月期第3四半期の期中平均株式数については記載していません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の回復等により景気回復基調で推移いたしました。米連邦準備制度理事会(FRB)の利上げの継続による円安進行での物価上昇の影響や米国大統領選挙の影響等、様々な要因から先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する、保育・幼児向けサービス業界においては、共働き世帯数の増加や女性の就業率上昇により保育施設利用者数及び保育施設数の増加が続いており、2024年4月の1・2歳児の保育施設の利用率は59.3%(前年比1.5%)増加しているものの、一方で2023年の出生数は72.6万人であり、前年比5.8%減少と更なる減勢が加速しており、2024年4月の保育施設の定員充足率は88.8%(前年比△0.3%)と微減しております。

(出典：こども家庭庁・保育所等関連状況取りまとめ(令和6年4月1日)、厚生労働省・令和5年(2023)人口動態統計月報年計(概数)の概況)

その為、政府は「次元の異なる少子化対策」を掲げ、2023年4月に「こども家庭庁」の設置、2023年12月には「こども大綱」が閣議決定され、2024年5月には同大綱に基づき「こどもまんなか実行計画2024」が決定されました。さらに2024年6月には「子ども・子育て支援法」の改定法案が国会にて可決され、こどもまんなか社会の実現に向けた対応が推進されております。今後の施策として就労条件を問わず保育施設を柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」の拡大等、子育てをしやすい環境整備に向けた対応が重視されています。

また、2023年1月23日には厚生労働省より各自治体に保育施設において使用済みのおむつの処分を行うことを推奨する通達が出されており、保育・幼児向けサービスはますます重要性が増しています。

このような環境の中、当社は保育施設に対して、紙おむつを中心としたサブスクリプションサービスの拡充を行ってまいりました。積極的な広告宣伝や、無料キャンペーンを実施することで、当サービスの知名度は向上し、前事業年度末と比較し、当第3四半期会計期間末における紙おむつサブスクリプションサービスのユーザーが56,996名から92,859名と35,863名増加、また、契約園数も5,041園から6,835園と1,794園の増加(無料キャンペーン中のユーザー・契約園を含む)となりました。

今後は、おむつ以外の商品群を充実させるとともに、自治体への営業活動を積極化させることで、確固たる基盤作りに邁進してまいります。

売上原価に関しては新規の契約園数及び、有料課金契約数が大幅に増加したことにより、3月と4月のおむつ等の仕入高が増加したことで、大きく増加しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は2,101百万円、営業利益は97百万円、経常利益は96百万円、四半期純利益は134百万円となりました。

なお、当第3四半期累計期間は四半期財務諸表の作成初年度であるため、前年同期実績との比較は行っておりません。

また、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、1,112百万円となり、前事業年度末に比べて315百万円の増加となりました。その主な要因は、売上高の増加に伴い売掛金が116百万円増加、手ぶら登園事業等のシステム開発に伴い無形固定資産が25百万円増加、繰延税金資産を計上したことに伴い投資その他の資産が41百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、644百万円となり、前事業年度末に比べて180百万円の増加となりました。その主な要因は、仕入高の増加に伴い買掛金が83百万円増加、長期借入金(1年内返済予定を含む)が65百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、467百万円となり、前事業年度末に比べて134百万円の増加となりました。その要因は、利益剰余金が134百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年12月19日に公表いたしました「東京証券取引所 TOKYO PRO Market上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	525,284	637,878
売掛金	160,249	276,321
商品	494	8,190
仕掛品	—	10,612
貯蔵品	990	5,202
その他	11,473	11,016
貸倒引当金	△5,144	△9,232
流動資産合計	693,348	939,989
固定資産		
有形固定資産	5,573	7,914
無形固定資産	75,555	100,687
投資その他の資産	22,790	64,039
固定資産合計	103,919	172,641
資産合計	797,267	1,112,630
負債の部		
流動負債		
買掛金	98,344	181,452
1年内返済予定の長期借入金	129,559	132,050
未払法人税等	950	712
賞与引当金	12,829	12,881
その他	85,962	114,001
流動負債合計	327,647	441,098
固定負債		
長期借入金	134,526	197,102
その他	2,277	6,649
固定負債合計	136,803	203,752
負債合計	464,450	644,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	574,312	574,312
利益剰余金	△341,495	△206,532
株主資本合計	332,816	467,779
純資産合計	332,816	467,779
負債純資産合計	797,267	1,112,630

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	2,101,806
売上原価	1,377,820
売上総利益	723,985
販売費及び一般管理費	626,694
営業利益	97,290
営業外収益	
受取利息	35
受取褒賞金	2,018
その他	187
営業外収益合計	2,241
営業外費用	
支払利息	1,801
支払手数料	1,500
営業外費用合計	3,301
経常利益	96,230
特別利益	
受取補償金	35,799
特別利益合計	35,799
特別損失	
固定資産除却損	2,416
臨時損失	27,015
特別損失合計	29,432
税引前四半期純利益	102,597
法人税、住民税及び事業税	717
法人税等調整額	△33,082
法人税等合計	△32,364
四半期純利益	134,962

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

当社は、子育て支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	18,478千円